

## 条件不利地に堆肥を投入

古関さん：ここでは「田んぼのランドデザイン」として農薬をやめ、鵜養以外のものは持ち込まずに栽培を行ってきたところ、単収は条件の良いところで5俵/10a、条件の悪いところは2.7俵/10aである。特に条件が悪い山際は、落ち葉などの有機物が多いが、日当たりが悪いためか、水温が低く有機物を分解する力が弱い状態にある。そのため、田んぼから出た有機物を分解して田んぼに戻してあげれば良いのではないかと考え、試作した堆肥の投入を予定している。

## 育苗にも堆肥培土

古関さん：育苗用に購入した有機培土の一部に完熟していないものがあったことから、これからは、自ら堆肥づくりを行い、それをういた培土で育てた苗を当社所有のほ場で使い、軌道に乗せてから2~3年後には地域にも広げていきたい。

いもちの心配もあることから、ほ場へ堆肥を投入することについては悩んだが、出来秋の豊作の喜びなども大事なので、実施する方向で検討している。

堆肥は地域の資材のみで作りたいので、今後は酒蔵ができればアミノ酸が豊富な酒かすも利用し、酒かす堆肥として地域で循環していきたい。

## いよいよ30ha規模へ

古関さん：秋田県の基盤整備事業を活用し、令和2年から4年までの3年間で堰を改修のうえ大又川の川向かいの休耕田10haの復田を行い、令和5年産から作付けを行う予定となっている。

これまでに復田したところは、水が浸透し過ぎる傾向があったので、今後復田するところは、令和4年の秋に代かきして土を固めておきたい。復田したところは土壌窒素分が多いことから、いもち病を心配している。

令和5年産からの復田分を加えると、酒蔵を作る目安としていた30haを超える栽培面積となり、人件費などを賄うことができる規模になると思っている。

## 木桶工房建設へ今春始動

加藤さん：当社は木桶を使って醸造を行っているが、木桶を製造している唯一の会社が製造を中止することとなっていたので、当社で使用する木桶を調達するために、木桶職人を育成する取組を行っている。

古関さん：木桶工房は、へそ公園から鵜養集落に向かって下りていく鵜養橋の手前に建設する予定である。土地の調査依頼等が今春からスタートする計画で、令和10年に完成する予定である。タイトなスケジュールではあるが、地域との最初の約束では5年で酒蔵を作ると言っていたところ、既に6年目になってしまった。5年目には離農する方も出てきたので、地域の方々のためにも、鵜養への人流ができ、目に見える形のものを作っていきたい。工房で作る木桶には、秋田杉を使っていきたい。

## ライスセンターの建設

古関さん：地域の処理能力が限界を超えていたので、ライスセンターの建設を予定している。建設予定地は、へそ公園のグラウンドである。秋田県の地域振興局や秋田市からもフォローしてもらい、令和5年の完成を目指している。

ライスセンターの近くに堆肥センターを建設することも考えたが、地域の方々の意見を取り入れ、もう少しほ場側に作ることにしている。我々は地域の玄関を開けてもらった客なので、地域の理解がないことをするわけにはいかない。地域の方々の思いが大事である。

◇**鵜養地区**◇

人口81人 世帯数41世帯（令和3年4月1日現在）

〔出典：秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト〕

<https://common3.pref.akita.lg.jp/genkimura/area/detail.html?cid=17&id=863>

秋田市最奥部の小盆地で秋田県の中央部に位置します。大又川と小又川の2つの清流に挟まれ、茅葺の家も残る自然豊かな鵜養地区は、山々に囲まれ、上流に人家が無いことから水が綺麗で、上流部から取水される水量豊富な用水は、鵜養地区内の田んぼや各家々へ分水されています。

◇**鵜養酒米の郷**◇

平成28年に発足した「鵜養酒米の郷」は、新政酒造株式会社と協力し同年から酒米づくりを開始しました。

地域の古老が発した「愛亀がよかった」との言葉をきっかけに、「愛亀」こと陸羽132号を栽培品種に加えしました。奇しくも、取組の主体となっている新政酒造株式会社において、寒冷地の酵母「きょうかい6号酵母」が発見された時期は、鵜養地区で「愛亀」の栽培が最盛期を迎えた時期と同時期でした。

## 参考URL

東北農政局HP「秋田地域からの便り」（令和2年度）

肥料も農薬も使わない酒米づくり～鵜養酒米の郷～

[https://www.maff.go.jp/tohoku/rin/tayori/akita/r02\\_akita.html#210322](https://www.maff.go.jp/tohoku/rin/tayori/akita/r02_akita.html#210322)

鵜養酒米の郷 <https://www.instagram.com/uyashinai.sakamainosato/>

古関弘さんInstagram

<https://www.instagram.com/accounts/login/?next=/aramasa.koseki/>

## へそ公園から望む鵜養地区の今後の予定

※お話を基に東北農政局秋田県拠点で作成

復田予定地

木桶工房建設予定地

ライスセンター建設予定地方向（へそ公園グラウンド）

## 引用

新政酒造株式会社HP：<http://www.aramasa.jp/>

東北農政局 秋田県拠点 地方参事官室

〒010-0951 秋田市山王7-1-5 TEL: 018-862-5611 FAX: 018-862-5340

URL：<https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/akita/index.html> Eメール(総合窓口)：sanjikan-info-ak@maff.go.jp